

# みんなで守ろう、わたしたちの道

# 道サポ

## 誰でも簡単になれる！道を守るサポーター＝「道サポ」に！

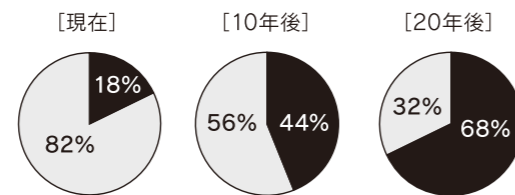
普段、何気なく使用している道路が今、老朽化問題に直面しています。定期的なメンテナンスを行ったり、みんなが大切に使用することで道路の寿命は伸びていきますが、今の状態を維持していくためには、費用や今以上にさまざまな人の手助けとみんなの支えが必要になります。道路のごみを拾ったり、壊れた個所を発見して通報したりするだけでも道路を守り維持していくための十分な支えになります。私たち一人一人の目で見守り、重大な事故を防ぐ「予防」が一番大切なのです。私たちの住むまちの道を見守り、応援・手助けして頂けるサポーター＝「道サポ」にあなたもなりませんか？



### vol.1 橋梁・トンネルの今

#### 橋梁(九州)

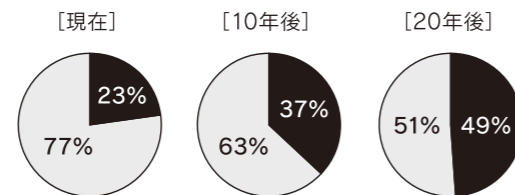
鉄筋やコンクリートでできた構造物は、時間の経過とともに劣化を起こします。全国に橋梁は約70万橋あり、九州では約10万橋の橋が架かっています。このうち建設後50年以上経過した橋梁は、20年後の32年には68%と半数以上になります。



建設後50年以上経過の橋梁の割合 (10年単位)

#### トンネル(九州)

九州のトンネルも戦後すぐに造られたものが多く、老朽化が進んでいます。全国では約1万本、九州では1,700本。中山間が多い大分県内にはトンネルが554本あり、全国1位。橋梁と同じく、九州内で建設後50年以上経過したトンネルは、20年後には49%に増加していきます。



建設後50年以上経過のトンネルの割合 (10年単位)

～みんなで守ろう。わたしたちの道～

## 道サポ 体験見学学習会

開催決定!

私たちが普段利用している道路や橋、トンネルなどは、きちんとメンテナンスをしなければ、老朽化してしまいます。自分たちが使うものだからこそ、もっと詳しく知りたいと思いませんか？ 普段どのようなメンテナンスをして橋を守っているかを、専門家の話と現地での体験見学を交えてわかりやすく教えます。みんなで守ろう私たちの道路。ぜひ参加してください。

- と き:平成26年10月26日(日) 13:30～16:30
- と ころ:大分合同新聞社及び国道10号府内大橋
- 内 容:橋を中心とした施設についての講演と府内大橋の体験見学
- 主 催:国土交通省 大分河川国道事務所

※申込み方法や詳細は、道サポ vol.2で発表します！



道路がどのように造られていて、維持補修のためどのような工夫がなされているか、実際の建設現場を見学して学ぶ「なつやすみ集まれ! 道路探検隊」が8月5日、佐伯市上岡の東九州自動車道の番匠川橋(仮称)で開催し、小学4～6年生の児童と保護者8組21人に実際に見学してもらいました。

主催/大分合同新聞社  
協力/国土交通省佐伯河川国道事務所、大分河川国道事務所、株式会社日本ピーエス

インターネットの特設サイトでは「道路検定クイズ」「みちのこぼれ話」などもっと詳しい情報を見ることができます。ぜひご覧ください。

<http://www2.oita-press.co.jp/michisapo/>

〈道サポ事務局〉  
大分合同新聞社 コミュニケーション開発局 イベント事業二部内「道サポ」係  
TEL.097-538-9646(平日9:00～17:00)

国土交通省 九州地方整備局 大分河川国道事務所  
道路管理第二課 TEL.097-544-4167